

①自尊感情 ②コミュニケーション ③知的理解 ④人権救済・社会変革	順位付け 『目撃・いじめ』
--	-----------------------------

1 ▼ 学習の目的

- (1) 「いじめが間違っている」と万人がわかっているのに、「いじめがなくなるのはなぜか？」について考える。
- (2) 自分の弱さを受け入れる勇気を育む。
- (3) 粘り強く考え、あきらめない精神力を養う。
- (4) 「正しい知識」を行動化する態度を促す。
- (5) 傍観的態度から社会参加する方向性を明確にする。

2 ▼ ワークショップ

- 1) グループ編成 (5~6人) をする。
- 2) 全員にシートを配布し、促進役が読みあげる。

【小学生高学年になったつもりで参加してください】

学校の帰り道、五~六人の同級生(知っている子? 知らない子?)が、一人の同級生(知っている子? 知らない子?)をいじめているところにてあいました。棒でつついていたり、悪口を言ったり、からかっていたり、など自由に考えてください。いじめをとめたいのは山々です。しかし、とめにはいると、いじめが自分にまわってくるような気がします。だまって通りすぎると、自分の心に傷がつきます。今、ここで、あなたは、どういうことならできそうに思いますか?

「いじめをどうにかとめたい、なんとかしたい」と考え、「わたしには、どうにかできる知恵と力をかならず持っている」と信じてください。あきらめずに、ねばり強く考えつづけてください。

「いじめをやめろ!」と飛び込める事が出来ることを100点満点とします。だまって通りすぎるのは0点です。0点さえとらなければかまいません。数多くのできそうなことを考えてください。

(間違っても、いじめの側には、まわらないように…。これはマイナス点)